

オンラインミーティングの概要

No.	意見や提言（要点）	意見や提言	対応	担当課
1	市民に開かれた天体観測会	数年前にリック羽曳野で望遠鏡を使った天体観測会のボランティアを何年かしていました。そのときは毎回多くの方が訪れ、天体観測会を楽しんでいただきました。最近になり、(ここ3~4年間)天体観測会が途絶えてしまいました。お客様の中には星がとても好きで次の機会にもぜひ参加したいですとおっしゃっていた方もいたため、とても残念に思っています。 年間数回の観測会の実施をお願いしたい。天文に興味のある方と一緒に実施していきたいです。星空の魅力を伝えて、地域の自然を守り、自然を愛する人々を応援します。ぜひ市民による天体観測会を復活できるようにしたいです。	夜空に目を向ける素敵なお提案ありがとうございます。 わが町は、歴史豊かで、世界遺産がある羽曳野市、昔の人々が眺めていた同じ夜空を眺めることに悠久のロマンを感じていたこと共感できます。“Lic はびきの”にて、平成29年度までは、毎回100人以上の申し込みがあるイベントとして天体観測会を実施していましたが、文化事業の見直し及びコロナ禍などの要因により、途絶えている状況です。 今年の5月には、ペルセウス座流星群があり、また和歌山県串本町では民間のロケットの打ち上げも予定されており、民間事業者が火星へ移住、市民の方の多くが空を見上げる機会が増えると思います。将来的にはもっと宇宙が身近なものになると言われており、天体観測会により宇宙に興味を持つこともたちが増えるきっかけになればいいなと思います。 市としまして、ご要望いただきました中望遠鏡は、設置から20年以上が経過しており、修理を行っても機器の性能については、現在のものと大きく異なると認識しています。また、新しく望遠鏡を設置するにも多額の費用がかかることから、現在可動する小天体観測望遠鏡を活用し、以前のような天体観測会の再開に向けて尽力していきたいと思っています。	社会教育課
2	シェアサイクルについて	駅前などに設置されたレンタサイクルの種類（高齢者用の3輪やママチャリ・免許不要の電動キックボード）を増やすことで、多くの方が乗りやすくなる。また、免許返納した高齢者は安く使えるようにすることで、免許を返納した後の交通手段にも使うことができます。	ご提案ありがとうございます。 令和4年12月末より羽曳野市では、通勤・通学・お買い物・観光などにお使いいただける電動アシスト付き自転車による「シェアサイクル事業」をスタートさせました。今後、利便性を高めるため、市内の各駅や公共施設などからも使っていただけるよう設置場所を順次増やしていく予定です。利用時間によっては、これまでのレンタサイクルよりも安価で使ってもらえる場合もありますので、ぜひご利用ください。ご利用の方法につきましては、市広報並びに市公式ウェブサイトにてお知らせさせていただきます。 ご提案にもごまいますように高齢者の方にも普段使ってもらえるような3輪自転車などの導入の議論も今後していきたいと思っています。 【参考】 利用料金：30分130円（以降、30分経過後15分あたり100円） 12時間最大1,800円 設置場所：古市駅東広場、恵我ノ荘駅前広場、峰塚公園管理棟前 ※令和4年12月末現在	観光課
	サニタリー自動販売機について	気まずくて友達に借りられず困ったことがあったため。 小学校から大学を含む学校のトイレにナブキンを購入できる機械を設置してほしいです。 また、トランスジェンダーに配慮したトイレは羽曳野市内にありますか。	ご提案ありがとうございます。 (今までの経過と現在の状況) 羽曳野市では、令和3年6月に「生理の貧困」に対する緊急的な支援として、災害備蓄品を活用して、市内3か所の窓口で生理用品の配布を行いました。その際、女性職員が対応するなど、窓口に来られる方の精神的な負担の軽減に配慮をしておりました。また、窓口での配布と同時に、市が配布する生理用品を必要とされる方のさらなる精神的な負担軽減のため、市役所本館・別館・保健センターの女子トイレにおきましても試験的に生理用品を配置したところ、一定の利用が見られたことから、その後、配置施設を増やし、現在、9か所の公共施設の女子トイレに生理用品を配置しています。 ※9か所：市役所本館・別館・保健センター・青少年児童センター・陵南の森図書館 ・中央図書館・LICはびきの・教育研究所・古市複合館) 四天王寺大学では大学内のコンビニでの販売を行っており、急な対応については、学内の保健センターで学生へ無料配布を行っています。昨年6月に羽曳野市から四天王寺大学へ生理用品120セットを配布させていただき、学生さんへ配布いただいたと報告を受けております。 羽曳野市立の小・中・義務教育学校においては、子どもが生理用品が必要となったとき、または持ってこなかった場合には、原則、保健室において、生理用品をもらうことが出来るよう対応しております。また、何度も取りに来なければならぬ状況と判断した時などは、余分にビニール袋や紙袋など出来るだけ目立たないようにして渡すなどの対応をしております。現在、試験的ではありますが学校独自の取り組みでトイレに生理用品を入れた箱を設置し、子どもが自由に使用できるよう対応している学校もあります。 ご質問の自動販売機の設置については、設置場所の課題や学校へ金銭を持ってくるなどの課題もあるため、現段階では設置については考えてはおりません。 LGBTQ誰もが気持ちよく利用できるトイレは、今のところ羽曳野市では設置しておりません。他市でも条例制定の動きを見せている中、当市でもこれからの取組みとして、皆様から様々なご意見を頂戴できれば良いと思います。	福祉総務課 市民協働ふれあい課 学校教育課
3	スマート農業の推進及び学校給食への利活用 ～地域の健康とまちづくり～	羽曳野市を食で健康なまちにしていきたいです。 羽曳野市内で栽培した有機野菜を給食や希望する市民の方への提供していく。 新しい農業（循環型農業・スマート農業・アクアポニックス）でさらに多くの安全な地元野菜を使用できれば良いと思います。 循環型農業：いちじくの枝・ぶどうの搾りかす・枝を堆肥にして利用することで使用する農薬などメリットがあります。	ご提案ありがとうございます。 羽曳野市は豊かな農産物が多くございます。自然環境が豊かな町、羽曳野こそ農業に力を入れていかないといけないという意見がございます。私は府議会議員の時、環境農林水産常任委員会に所属し、大阪府政での農業政策に多く携わってきました。本市の現状としまして、農家数は直近の2020農林業センサスでは563戸で、前回の2015農林業センサスの691戸から128戸減少しており、また、耕作面積も18,173aから14,991aに3,182a減少しており、遊休農地が増加している現状があります。高齢の営農家さんが増えていきます。若手へのバトンタッチが課題ではあります。西浦には府の研究所（農業大学）がございいますので、そちらと連携して、課題解決に取り組みたいです。	産業振興課 観光課

		<p>スマート農業を推進する利点は、以下の3つがあると考えられます。</p> <p>1つ目は、羽曳野市の農業人口減少、農業遊休地への対策ができること。</p> <p>2つ目は、他市に先駆けてスマート農業を推進することで羽曳野市を安心、安全な食の町としてブランディングするなどまちづくりの一環になる可能性があること。</p> <p>3つ目は、市内の小中学生に見学する機会を作ることで、次世代の農家もしくはIT人材育成につながる可能性があること。</p> <p>アクアポニックス：野菜と魚を同じ装置で栽培する循環型の装置を導入することで持続可能な健康的な食材を提供することが出来ます。</p> <p>体に良い食材を使用した給食で、子ども達と地域の方々の健康を向上させる食で健康なまち、“はびきの”を創っていただきたい。</p>	<p>羽曳野市内にあるデイサービスでは、ぶどうの枝をキャンプの着火用に加工したり、蒸して、チーズの燻製を作ったりして、色々な商品を生み出しているという報告を受けました。</p> <p>羽曳野市では、昨年10月に大阪はびきの観光局（JTB・近鉄・吉本興業・市）を立ち上げました。民間の知恵（自由な発想）を取り入れながら新しい取り組みを行いたいです。</p> <p>スマート農業に関しては、導入費用が一番ネックになると考えますが、大阪府と協力しながら、使っていただきやすい補助金制度など出来るように協議を進めていきます。</p> <p>陸上養殖などにも関心がございます。担当課と議論を深めたいと思います。</p>	
			<p>現在、小中学校では、食育指導の一環として、地元特産品の紹介ビデオや地元農家さんのお話を聞くなど独自教材を作成し、クラウド上のドライブより全ての教員が教材を使用できるシステムを構築しており、その教材を使って食育指導を実施し、地元の特産品などに関心を持つことが出来るよう取り組んでいます。また、現在、試験的ではありますが小学校3校において確井豌豆の栽培に取り組んでおり、5月に収穫後、さやむきをし、翌日の給食食材の一部として活用する予定です。この折に、全小学校において地元の特産物の話をするなどして広めていきたいと考えております。</p> <p>学校給食への食材活用・地域への給食の提供について</p> <p>1点目の地元産の野菜や果物の食材の活用につきましては、大切なことと考えております。</p> <p>現在、中学校給食においては年に数回になります地元産の食材を活用し給食の食材として提供しております。（確井豌豆・いちじく・油かすなど）</p> <p>一方、小学校におきましては現段階では、提供することが出来ていません。</p> <p>課題としましては、使用日に規格を満たした大量の食材が必要となること、農薬等の基準が厳しいこと、価格が高くなることなどの課題もあり、現段階では難しいと考えています。しかし、大変重要な事と考えており、今後、地元農家さんと給食食材への提供についてお話ししてまいりたいと考えています。</p> <p>2つ目の小学校給食の地域への提供について</p> <p>学校給食は学校給食法・学校給食実施基準・その他様々な法令や基準のもと運営されています。</p> <p>一般の方への給食提供については、食物アレルギーや食中毒への対応が迅速にできない等課題も多いことから給食の提供については厳しいと考えられます。</p>	食育・給食課
4	市内のイベント活性化とユニバーサルデザインの意義と重要性について	<p>イベントは、子ども達が様々な経験（自然に触れ合う、むかし遊び、SDGsを知る）をする機会です。</p> <p>またイベントは、障害があってもなくても、誰もが楽しめるようにすることが大切です。</p> <p>イベントを活性化していきたいです。</p> <p>また、イベントやボランティアを展開するにあたり、ユニバーサルデザインの意義が大切です。</p> <p>多くの人に、ボランティアやユニバーサルデザインの”重要性を知ってもらう事”ではなく、”知ろうとしてもらうこと”が出来れば良いと考えます。</p>	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>また、日ごろから羽曳野市のイベントに積極的にボランティアとして参加、活動していただいていることに感謝申し上げます。</p> <p>2025年に開催される大阪・関西万博に、日本はもとより、世界中から多くの方々が大阪に来られます。大阪のまちのあり方などをしっかりと見ていかれる。そこに合わせて、整備していかないといけないことがたくさんあると思います。イベントの人数制限が撤廃され、今後、様々なイベントが開催されます。“Lic はびきの”の稼働率も上がっています。ボランティアが必要な場が増えています。しかしそこには、若者の減少など様々な課題もあると感じております。</p> <p>ユニバーサルデザインへの多くの人達の”気づき”大切です。ただ、資金面で難しかったと聞いておりますが、クラウドファンディングなどを活用して資金集めをされて、活動を活発化された事例もございます。障害のある方が生活しやすい環境づくりの必要性を十分感じています。すべてをやることは難しいですが、皆さまにとって利便性が高いところから形づくっていききたい。また議論を深めていききたい。その時は、皆さまにもぜひ加わっていただければありがたいと思います。</p>	市民協働ふれあい課